

## 向月台

向月台、または「月見台」は、かつて人々が月見を楽しんでいた事を示しており、その歴史は奈良時代(710~794年)まで遡ると言われています。また、月は仏教において悟りの象徴でもあります。銀沙灘と同じ頃に作られた向月台は、当時は現在と比べて大分低いものでした。現在の高さは180cmあり、上部表面が平らな、完璧に左右対象な白い砂で作られた円錐形をしています。向月台はその滑らかで美しい形状を維持するために、4~6週間ごとに整えられます。